事業番号	194

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要

事務事業名	市営住宅施設整備事業					担当部	都市建設部		
会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	建築課		
事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降					担当係	営繕係		
総合計画 新基本計画 施策等	6 都市基盤	28 住宅	2 適正に市営住宅を管理・運営します						
	重点事業		実施計画事業	○					
予算区分	款	8	項	5	目	1	大	2	中 2
根拠法令・個別計画	公営住宅法・小牧市市営住宅条例・小牧市公営住宅等長寿命化計画								
目的 何・誰を対象に	市営住宅とその入居者								
目的 どの様な状態にするのか	市営住宅を適切に整備し、住宅に困窮する低額所得者に住宅を供給することにより居住水準の向上を図る。								

内容（手段） 目的達成のためにどのような事業を実施したか

下記、市営住宅の適正管理のため、適宜、改修工事等を行う。
市営鷹之橋住宅　24戸（1棟）
市営大輪住宅　　68戸（3棟）

◆27年度実施内容
・小牧市公営住宅等長寿命化計画により築25年を経過する住宅から順次、屋根及び外壁等の改修工事を行う計画としており、平成3年に建築した市営大輪住宅1棟が平成28年度で25年経過するため、改修工事の設計業務委託を実施した。
【直接経費の内訳】
・市営大輪住宅1棟屋根外壁等改修工事設計業務委託料（2,376千円）
【財源の内訳】
国費（1,188千円）＋一般財源（1,188千円）

◆28年度実施内容
・平成27年度に実施した設計業務により市営大輪住宅1棟屋根外壁等改修工事、同工事の監理業務委託を実施する。
【直接経費の内訳】
・市営大輪住宅1棟屋根外壁等改修工事費（43,000千円）
・市営大輪住宅1棟屋根外壁等改修工事監理業務委託料（1,566千円）
【財源の内訳】
国費（17,826千円）＋市債（17,800千円）＋一般財源（8,940千円）

受益者負担：無

コスト

区分			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
費用	直接経費		千円	2,730	48,924	2,376	44,566
費用	正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
費用	正職員	人件費	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
費用	その他職員	人件費	千円	0	0	0	0
費用	費用合計		千円	3,830	50,024	3,476	45,666
費用	対前年比		%		1,306.1	6.9	1,313.7
財源	一般財源		千円	1,100	1,986	2,288	10,040
財源	国・県支出金		千円	1,116	24,038	1,188	17,826
財源	その他財源		千円	1,614	24,000	0	17,800

事業番号	194

業績

活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
工事件数	件	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
入居率	%	目標	100	100	100	100
		実績	100	100	100	
		目標				
		実績				

事業の自己評価

平成27年度の実施結果	事業の達成状況	市営大輪住宅屋根外壁等改修工事の設計業務を委託し、平成28年度の改修工事発注の準備が完了し、目標を達成した。	
	事業実施における課題	残る市営大輪住宅2、3棟も計画的に修繕や改修を行うことにより、施設の長寿命化及び、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。	
	基本施策の展開方向の目的に対する影響（貢献等）	市営住宅を長寿命化計画により計画的に改修を行うことで、住まいを確保することが難しい人や入居者が安心して暮らし続けられる市営住宅を提供できる。	
平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	小牧市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営大輪住宅1棟の屋根外壁等改修工事を予定しており、屋根、外壁の修繕周期に達したため改修を行う。	
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	施設の長寿命化型改善などの手法を取り入れ、事業の効率化を進めつつ、今後も施設を適切に整備し、住宅に困窮する低所得者に住宅を供給することにより、居住水準の維持、向上を図る必要がある。	
	29年度以降の改善案	耐久性の向上等の改善手法を導入し、施設の長寿命化を図る。また、平成22年3月に小牧市公営住宅等長寿命化計画を策定しており、平成26年度から順次長寿命化型改善を行っており、今後も修繕周期の延長などライフサイクルコストの縮減を図っていきたい。	

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 ファシリティマネジメントの視点から、小牧市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に整備工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。